

言語接触はあらゆるところで起こる

- 『月刊言語』2008年5月号
- 特集：言語学最新キーワード12
- 「遍在性」

言語接触における「ている」

- 日系一世のピジン英語におけるstei
- Ai stei plaent
- 植えとるんじゃ(結果状態)
- 植えよるんじゃ(進行態)
- 日系2世以降のクレオール英語では結果状態のsteiは現れない。

九州方言における「あっている」

- 以下は齋藤紀子氏の神戸大学人文学研究科修士論文のデータに基づく考察である。
- 鳥居の前、ゴミん、ありよる。(具体物の一時的存在)
- 双方に違いが{ありよる/あっとる/あっている}(抽象物の非一時的存在)
- テレビで野球がありよう。(出来事の進行)
- 今、会議がありよう。(出来事の進行)
- もう、会議があっとう。(出来事の終了)

国会議事録に表われる「あっている」

- 学校存続に向けて地元から入学者増を図る動きが確かにあっているかというふうに報道で受けているところでございますが(中略)学校存続に向けた地元の運動の中に議員が今御指摘のような動きがあるということは、(青森・花田隆則・2004)
-)経済企画庁との判断が相違しているのじゃないかと、交友後疑念につながったかと思うのでありますが、(中略)その判断には食い違いがあっておりません。(鳥取・竹下登。1983)